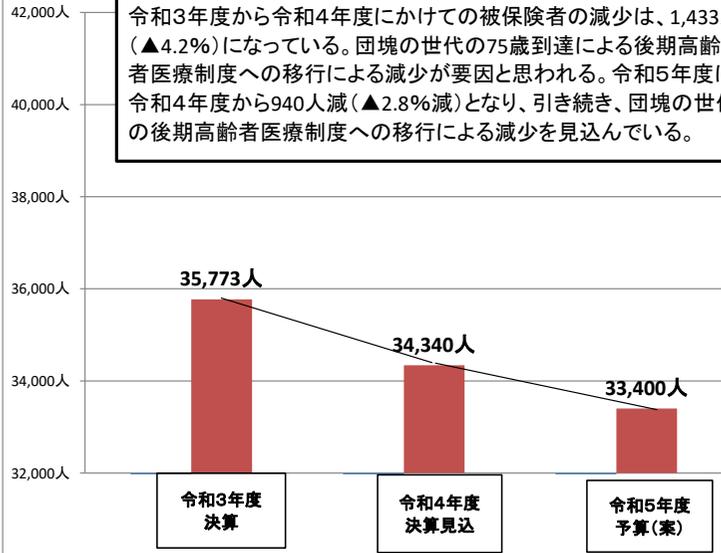


歳出①

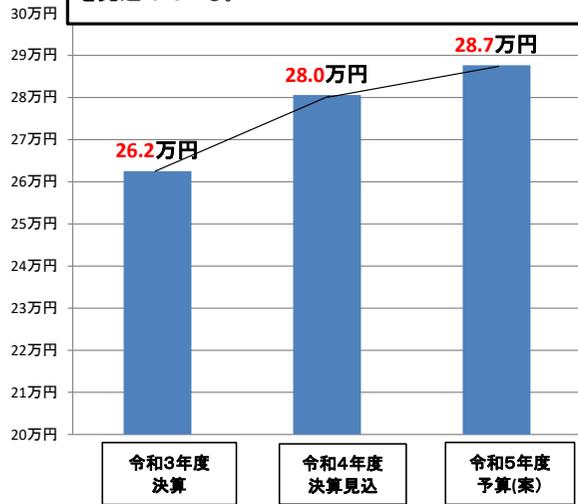
○ 被保険者数

令和3年度から令和4年度にかけての被保険者の減少は、1,433人(▲4.2%)になっている。団塊の世代の75歳到達による後期高齢者医療制度への移行による減少が要因と思われる。令和5年度は令和4年度から940人減(▲2.8%減)となり、引き続き、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行による減少を見込んでいる。



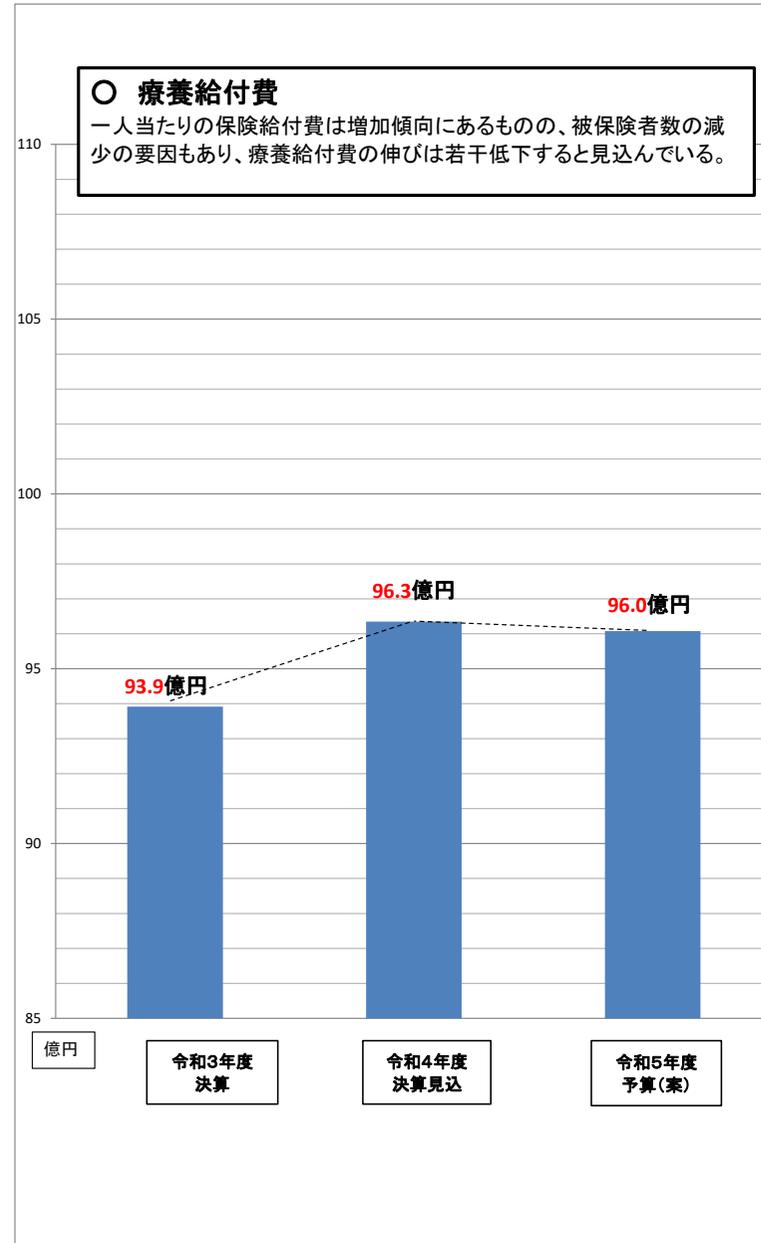
○ 一人当たりの保険給付費(*)

医療の高度化と被保険者の高齢化などにより年々増加することを見込んでいる。



○ 療養給付費

一人当たりの保険給付費は増加傾向にあるものの、被保険者数の減少の要因もあり、療養給付費の伸びは若干低下すると見込んでいる。



○歳出のポイント

■納付金……約54.4億円

県の調整金の見直し等により、対前年度約3.23億円増額となった。

■保険給付費……約111.1億円

被保険者数の減少により、対前年度約1.19億円減額と想定した。

○当初予算総額

・当初予算総額 170億円(令和4年度当初予算比1.19%)

国保事業費の推移

